

- A I Z U W A K A M A T S U -

マチイク

まちが育ち、人を育み、未来へつなげるまちづくり

第3期会津若松市中心市街地活性化基本計画

策定年月 2023年3月

計画期間 2023年4月～2028年3月

デザイン 公立大学法人会津大学短期大学部
産業情報学科デザイン情報コース 高橋ゼミ 2023

発行 会津若松市商工課

〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3番46号

TEL 0242-39-1252



第3期会津若松市
中心市街地活性化
基本計画



マチイクプロジェクト
実行委員会
Instagram



この冊子は、中心市街地が目指す姿のイメージを皆さんと共有するものです。
詳しい内容は、会津若松市のホームページをご覧ください。

会津若松市中心市街地



かまちを育てる
まちが人を育てる



まちが「育ち、人を育み、 未来へつなげるまちづくり

愛称は **マチイク**

**人がまちを育てる
まちが人を育てる**

基本理念(愛称・マチイク)には、「人を中心としたまちづくり」に焦点を当てた二つの意味を込めています。

まず一つ目として、一人ひとりがまちを形づくるかけがえのない存在であり、個々の輝きがまちの魅力を高める上で欠かせないことを踏まえ、主体性を持ったまちづくりを目指します。

二つ目として、中心市街地を形づくる地域の関係者や、まちで暮らす人、楽しみを求めて訪れる人が「このまちが好き」と感じ、将来への架け橋となる人が育まれる場所となることを目指

します。

そして、皆さんに親しまれるまちづくりのビジョンとなるよう「マチイク」を愛称とし、まちに関わるすべての人の視線を合わせ、まちづくりを進めます。



まちなかにある末廣酒造嘉永蔵(平成10年)

神明通りの七夕まつり(平成5年)



この冊子は、会津若松市中心市街地活性化基本計画の概要版です。第3期目を迎えたこの計画が目指す、これからのまちの姿、取り組んでいくことなどを、皆さんにわかりやすく伝えたい、そして、一緒にまちをつかっていきたいというメッセージを込めてつくりました。

皆さんの小さな行動がまちを変えます。
自分ごととしてまちの変化を生み、楽しみ、会津若松市の未来を一緒に作りましょう。



平成11年頃の大町通り

中心市街地は「まちの顔」

会津若松駅から鶴ヶ城周辺まで広がる中心市街地は、商業や居住、公共サービスなどの多様な機能が集まり、長い歴史の中で地域の文化や伝統を育んできた「まちの顔」とも言うべきエリアです。

何気ない日常や、お祭りなどの特別な時間の中で生まれる体験や記憶が刻まれた、「思い出し」の場所や時間、景色、味といったものが、皆さんにもあるのではないのでしょうか。

このような存在である中心市街地の変化は、目に映るものだけでなく、心深くに働きかける力があり、地域の活力を映し出す鏡として機能する特別な場所と言えるのかもしれない。

①旧会津中合の屋上遊園地②再建中の鶴ヶ城天守閣③大町二丁目のお日市(平成5年)④大町四ツ角から見た七日町通り⑤野口英世青春通り(平成6年)⑥第二次世界大戦後の市役所⑦開通間近の中央通り⑧幼年消防クラブパレード(平成5年、神明通り)⑨昭和32年東北初のアーケード(神明通り)⑩平成8年頃の大町四ツ角(札の辻)



会津の絵ろうそく



酒造り



会津木綿



⑤



③

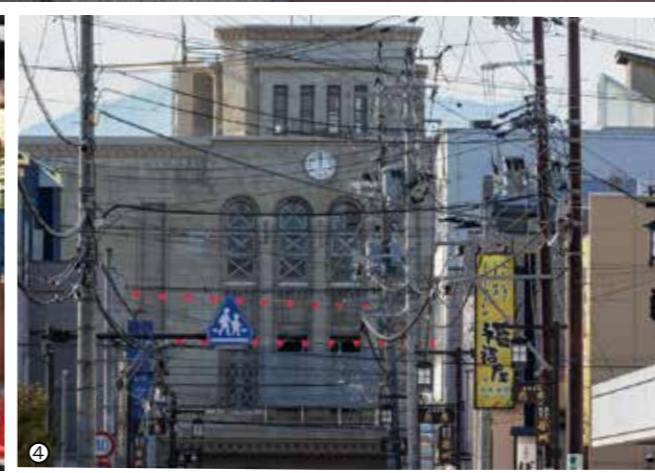


①

① 神明通りアーケード下のマルシェの様子
 ② 中心市街地を練り歩く会津藩公行列(会津まつり)
 ③ 小館稲荷神社祭礼の子どもみこし
 ④ 会津若松市役所通りの風景
 ⑤ 夕日が美しい七日町通り
 ⑥ 毎年恒例の大町ふれあいこどもまつり



⑥



④



②

大切にする価値観

歴史や伝統、文化の継承

— 地域固有の誇りや資源をつなぐ —

先人が培ってきた歴史や伝統、文化(産業、モノ、人間性、価値観、風土、空気感など)の魅力を活かしながら磨きをかけ、その価値を将来へ受け継ぎます



おんばさまのお日市のダンスイベント

多様性の体感

— 今を生きる自分を楽しみ、認め合う —

まちを訪れる人、働く人、暮らす人など、まちに関わるすべての人が自分らしさを感じ、お互いの違いを認め合うまちを目指します



会津の郷土料理



伝統的な会津漆器

持続可能なまちづくり

— 未来へ残す価値を生み、歩み続ける —

まちが持続的に維持・発展していくために、古き良きものはもちろん、新たに認められたものなど、さまざまな価値を持ったものを次世代に伝え、つないでいきます



中央通りからスタートする日新館童子行列

愛着や誇りの源
 中心市街地は、歴史や伝統に由来する空気感や、地域に根ざした企業・団体が生み出すモノやコトなど、この場所でのしか生まれない体験や記憶であふれています。それらを一つでも多く増やすことで、地域への愛着や誇りを持ち、多様で心豊かな人があふれたまちを目指します。

選ばれ、愛され続ける場所へ
 皆さんには「行きつけのお店」や「お気に入りの場所」はありませんか。
 この計画では、消費や時間を過ごす上で、目的地となる「場所」や「きっかけ」を増やすことにより、経済を活性化させ、中心市街地がさまざまな場面で選ばれる場所になることを目指します。そして、この地域ならではの体験や記憶をもとにした、まちへの「想い」を育みます。



会津五街道の起点・大町四ツ角(札の辻)



To-Be

中心市街地を目指す姿



01

消費者のニーズに応える 魅力を備えたエリア

暮らしの楽しさや豊かさを
体験できるまちを目指します



1 基本方針

地域経済のエンジンとして 力強く成長していく まちづくり



02

事業活動の場として好ましい 環境を備えたエリア

事業活動の場として
選ばれるまちを目指します



03

「稼ぐ力」を備え、地域経済の 原動力として機能するエリア

消費者ニーズを捉えた魅力ある業種や業態が
集まった、収益力の高い地域を目指します



中心市街地は、商店街や
伝統産業に代表される地域
に根ざした地元企業が集積
する土地であり、その活力
を向上させることは、地域
の経済循環を強く、太くす
ることにほかなりません。
経済活力の維持向上は、
地域住民の暮らしの豊かさ
や、まちで時間を過ごすこ
との楽しさを体感させるも
のであり、事業活動の場と
しての魅力にもつながるも
のです。
中心市街地を消費と事業
活動の場として活性化させ、
地域経済のエンジンとして
力強く機能し続けるまちを
目指します。

満たされる喜び 叶えるお店

To-Be

中心市街地を目指す姿



01



豊かで多様な「体験」や「記憶」を生むエリア

教育や文化、芸術などの面で、新たな価値観や経験を得られる場所を目指します



02

人を惹きつける「居心地の良さ」を備えたエリア

「行きつけ」や「お気に入りの場所」であふれたまちを目指します



03

地域ならではの「思い出」を生み、地域を担う人材を育むエリア

この土地ならではの「体験」や「記憶」を生み、地域への愛着を育むまちを目指します



2

基本方針

「思い出」を生み、「想い」を育むまちづくり

豊かな記憶と
彩る瞬間。



田中稲荷神社祭礼・ほおずき市

中心市街地はこれまで、関わる人々のさまざまな体験や記憶を生み、地域への愛着を育む場所として機能してきました。そこで生まれる思い出は、地域に対する誇りや想いをより豊かに育み、まちの将来を支えていくことにつながっていくものです。これからも中心市街地が「まちの顔」として愛され、地域特有の「体験」や「記憶」を一つでも多く生み、地域を担う人材を育むエリアとなることを目指します。



赤瓦になったお城で(平成23年)



中心市街地
エリア

市の玄関口であり、交通の結節点でもあるJR会津若松駅から、商業が集積している中心部の商店街、行政施設等の公共公益エリアを経て、本市のシンボルである鶴ヶ城に至る範囲を中心に活性化の取組を進めます。